

南の国の真夏に挑む体験の旅

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は、今年で19回目を迎え、南の国の真夏に挑む体験の旅として、6月29日から7月3日までの日程で本町各小学校の6年生25名と随員4名が本部町を訪れ、南国沖縄の暑さと文化を体験しました。本部町での思い出を、参加した児童の感想文で紹介します。

「沖縄での感想」

落合小学校



鬼塚 雅樹

沖繩へ行く前は、海の塩水と沖繩の暑さはいやだなあと思いつたが、2回連続で飛行機に乗るのが初めてなのでわくわくしました。そして、飛行機を降りて、沖繩に着いたら、やっぱり暑いと思いましたが予想以下だったのでよかったです。そして、何分がバスに乗ってホテルに着き、説明を聞いて部屋に入ったからクーラーが効いていて涼しかったのでよかったです。そして、何分が夕食の歓迎会に行き、説明を聞き入場して、何かを食べながら踊りを見て、「よっちょれ」を踊って少し疲れたけど楽しかったです。その日は、涼しく、ゆっくり、ゆっくり、楽しく、ぐっすり寝れました。



△伊豆味バイン園でのハプショー見学

らしくして、伊豆味バイン園に着いてハプショーを見ました。ハプショーでは金ハブ、銀ハブを見て、「かっけえー」と思いました。次にマンガースとの対決シーンを見せてもらいました。どちらも攻撃を一步もゆるめない激しい死闘が見れました。ハプショーの中で実際に闘わせた動物保護法違反になって100万円取られるらしいです。その次にマンガースのマチコさんを見せてもらいました。なんでも、何百何回かの連勝を果たした

百戦錬磨のすごいマンガースだそう。百戦錬磨はすごいなあと思いました。そして、次にバインの説明、味見をさせてもらいました。あの口の中ですりけるような甘み、今でも忘れられません。買ったものはバインとは無関係のソーキそばです。

そして、次に上本部小学校へ交流に行きました。そこでは、題名を聞いただけでもおもしろそうだな、楽しそうだなという琉球カルタなど遊びがいろいろありました。交流も終わり、給食を食べましたが、沖繩では丸いバインではなく、半円の形で缶詰やなく新鮮なのでビックリしました。これも終わり、バスに乗って今度は、町民体育館に行き、また交流会をしました。どれもこれもおもしろそう遊びばかり聞いてワクワクしました。それも終わり、小学校の人たちと別れて、次にやんばるガラス工芸館に行きました。ガラスのコップ作

りは以外に楽しかったです。そして、コップ作りが終わったあと、水着に着替えバナナボートに乗りました。けど、ボートはバナナではなく、スペースシャトルの形だったので、みんななんてバナナボートというのかわかりません。すごい疑問に思いました。そして、バスに乗りホテルに戻って、夜になったら、ゆっくり眠りました。

次の日、美ら海水族館が印象に残ります。そこを重点的に書きます。バスに乗って美ら海水族館のある場所に行き、植物園ばい場所に行きました。室内ではナッツやドリアンなどの紹介があり、とても楽しかったです。マンガーはコウモリが一夜にして全て食べた聞いて驚きました。また歩いて、美ら海水族館に行きました。そして、ヒトデやナマコを触りました。感想は、ナマコはヌルヌルしてるなあ、ヒトデはかたいのもいれは柔らかいのもいると



△美ら海水族館のタッチプール

思いました。時間が無いのであまり見てまわれなかったのがショックでしたが、サメやいろいろな魚が見れてよかったです。ジンベエザメやマンタなどあまり見れなかったけど、心に残っています。

その次にカヌーに乗り、サングと魚を見ました。やつぱりナマコもよく見られました。他にもソライロズメダイや黒い魚が見れて良かったです。そして、女子がやっている間に海で遊びました。三時のおやつはおいしかったです。そして、引渡し式をして、ホームステイをする人の家に

「初めての沖縄」
私 は最初、いろいろと不安な事がありました。でも、行ってみ

金山小学校

辻野 真由

行きました。着いて少し遊び、夜ご飯を食べている途中、手を出して言われて手を出したら、ヤドカリに挟まれました。痛かったです。そして、また遊び、次の日に記念撮影をして、引渡し式をして、団長さんたちの所へ行きました。そして、バスで平和祈念資料館へ行き、石を見ていたら、日本人とアメリカ人の名前が大量に彫られていてびっくりしました。中は正直気持ち悪かったです。戦争の犠牲者は本当にかわいそうでした。次にひめゆりの塔へ行きました。第三外科・・・この先は忘れませんでした。中であつた本みたいなものには、本当にかわいそうなおとまり書いてありました。そして、ホテルに行き、次の日にととう帰りの飛行機に乗り千歳に着いた時、荷物に券を失くして少し時間口スをしてしまいました。バスに乗り、家かえりあー、楽しかったと思えてよかったです。

とそうでもなく、とても楽しい旅になりました。一日目は、ほとんど移動でした。那覇空港に着いたときに、本部町の人たちが迎えに来てくれたことがうれしかったです。夜からの夕食歓迎会での発表は、まだ上手に出来なかったので、少し緊張しました。夜になったら、夕食歓迎会が始まって最初にした事は、自己紹介です。少し言葉がうまくいきませんでした。その後、ホームステイ先の家族とご飯を食べながら話をしました。その席の人ともたくさん話をすることができて、「これなら五日間うまくやっていけそうだな。」と思いました。その少し後、ずっと緊張していた発表がありました。でも、練習の時よりも上手にできました。夕食歓迎会は上手にできたので、明日もがんばろうと思えました。



△上本部小学校との交流

二日目からはいろいろなところに行けるので、楽しみでした。その中で、とても楽しかったのは、上本部小学校との交流、ガラスコップ作りとその後にあるバナナボートです。

上本部小学校との交流では、全校で迎えてくれたり、6年



△バナナボート体験

私は、このバナナボート体験で初めて海に入りました。乗るのも最後なので、待つている間は、海で泳いでいました。バナナボートは想像していたより速かったけれど、ボートから落ちないで帰ってくる事ができました。その後には食べた夕食もおいしかったです。

三日目は、この旅で一番楽しみなホームステイがある日で、朝から楽しみでした。他に楽しみなのは、美ら海水族館と水泳です。水族館には、見たことのない色の魚がたくさんいて、とてもきれいでした。その後のイルカショーはイルカが声を出していたのがすごかったです。その後の水泳体験では、カヌーにも乗りました。でも、順番が後の方だったので泳いで待っていました。その時におぼれそうになってしまったので、海水をたくさん飲んで、とてもしょっぱかったです。ホームステイでは夜、夕食を食べた後に、みんなで花火をしました。花火をたくさん持ったりして、おもしろかったです。